



1 明北小 全校音楽『大きな歌』 5月1日（金）



昨年度、子どもならではの発想を大切に、学年で進める音楽集會にチャレンジしました。

本年度、第1回目の全校音楽は、『大きな歌』を歌いました。「やまびこみたいな曲なので、全校が向かい合って、手をつなぎながら歌いたい」という6年生の願いから、学年の列の中に、5・6年生が入り、体をゆらしたり、リズムをとったりしながら、大きな声で歌って楽しみました。集會の後半は、子どもたちの希望から、『校歌』を元気よく歌いました。

2 明南小 代表委員会『“生活の約束”について考える』 5月7日（木）



明南小の『生活の約束』は、過去に職員によって作成されたものです。(1)学校の生活(①登校・下校 ②校内生活のきまり ③服装・身だしなみ)(2)校外の生活(①遊び ②交通安全)(3)その他(①欠席等の連絡 ②学校生活のマナー)と、多岐にわたり記されています。

今回、代表委員会において、「この約束はなくてもよいのではないか。こういう約束が必要ではないか。委員会のめあてに照らしあわせてみる。」などを念頭に、読み合わせをして、改めて考える時間を持ちました。子どもたちは、意味が分からないことを、担当職員にも聞きながら進めていきました。次回の委員会でも話し合われる予定です。

安全面は大切にしながらも、職員が望む制限や理想ではなく、子どもたち自ら、子どもたちの視点で、誰もが学校生活等を楽しく過ごせるようにしていくことが、子どもを真ん中にした学校づくりにつながるのではないかと思います。

3 明北小5年『みんなで考えて決めよう!』 4月9日(木)

明北小『安全でよりよい学校生活のために』の“生活について”には、「みんなが楽しく、気持ちよく生活できるようにしましょう。～学校で困ったことがあったら、すぐに先生やお家の人に伝えましょう。そして、みんなで考えましょう。～」と記されています。〇〇は持ってこない、〇〇は使わない等、細かいことは全校のきまりに記されてなく、クラスで考えることになっています。5年生の“シャープペンの使用”について紹介します。

みんなで考えて決めよう ～シャープペン編～ 5学年だよりから

「シャープペンって、(学校に)持ってきていいと思う?ダメだと思う?」という友だちの投げかけに、持ってきてもいいと思う理由や、逆に持ってこない方がいい理由が出されます。さらに、シャープペンを使うことのメリットとデメリットが出されます。子どもたちなりにいろいろ考えます。

メリット : 削る手間がない・スラスラ書ける・自分の好きな芯の太さを選べる

デメリット : 芯が折れやすい・お金がかかる・壊れたときに字が書けなくなる・字が薄くなる・カチカチと音がしてテスト中とか気になる

いろいろな意見を踏まえて多数決を取ります。持ってきてもいい人14人、持ってこない方がいいと思う人2人でした。では、「持ってきていい」ということになるのかな、と思っていると、「どうして持ってこない方がいいの?」と聞いています。「やっぱり自分は、カチカチという音が気になっちゃいそうだから…」と答えています。すると、「そんなに気になるかなあ?」「そんなに芯出すことないし、大丈夫だと思うけど…」と反対の考えが。「じゃあ、お試して持ってきてみるってのはどう?」「1週間とか持ってきてみて、音が気になるかやってみたら?」という声。するとその子は納得しました。もう一人の子にも聞いてみます。すると「どこかの学校で芯が折れた時に目に入っちゃったことがあるって。だから心配。」といいます。この瞬間クラスの空気が一気に暗くなってシーンとなりました。その様子から、このクラスの子たちは、みんなが「安全」に生活することを考えているのだな、と思いました。だから、しばらく誰も何も言えませんでした。すると、「でもさ、そういうことって、そんなにあることかな?」との声。「そうだね。起こらないかもしれないよね。」「まあ、起こるかもしれないけど。」と話が続きます。「やっぱりお試してやってみた方がいいんじゃない?」「でも、初日から目に入っちゃうことがあるかもしれないじゃん。」「それはそうだけど…」さあ、どういう決着をつけるのかな?と思いながら聞いていました。

子どもたちは子どもたちなりに悩んで、困って、でも、学校でシャープペンは使ってみたいし…最終的に「持ってきてたい人が持ってきて、1週間お試しをする。それからもう1度話し合って決める」ということで全員納得でした。これだけのことを、自分たちで司会をして、板書をして、話し合いをしていく子どもたちでした。

(※再度十分な話し合いを行い、使い方を決め、持ってきてても良い方向に決まったことが、次号5学年だよりに記されていました。)